

2023年3月28日

2022年度 第1回美容科教育課程編成委員会議事録

1. 開会日時 2023年3月27日(月) 10:00-11:30
2. 開催場所 埼玉県理容美容専門学校 浦和校舎 2階 ホール
3. 出席者 8名

	氏名	所属
1	間山 弘子	一般社団法人 埼玉県美容技術協会 指導講師
2	古川 聡	埼玉県美容業生活衛生同業組合 浦和支部 支部長
3	秋山 幸子	一般社団法人 埼玉県美容技術協会
4	長島 光世	埼玉県美容業生活衛生同業組合 戸田支部 支部長
5	増村 信雄	埼玉県理容美容専門学校 校長
6	千住 義祐	埼玉県理容美容専門学校 教務課長
7	原田 怜	埼玉県理容美容専門学校 美容科主任
8	橋本 有美	埼玉県理容美容専門学校 美容科主任

4. 学校長 開会挨拶 (増村校長)
5. 2022年度第1回・教育課程編成委員会の目的 (司会・千住課長)

本校における授業内容および学生指導が将来の職業実践に寄与しているか、について前回2021年度に意見・提案のあった点を、2022年度は修正あるいは取り入れて実施できていたかに関する報告

2021年度の意見・提案

- ① 授業に対する心構えと職業観を持たせる
- ② サロンワークをロールプレイなどで実践的に教える
- ③ 1年次からコミュニケーション能力を高める指導を実施する
- ④ 理解度に応じたきめ細かい指導が必要である
- ⑤ サロンワーク・日本文化の授業を通して美容の楽しさを知って欲しい
- ⑥ 学生が互いに教えあえる環境づくり

6. 2021年度の報告

1学年

橋本 美容科70期 1年生 進級時 117名 (過年度の休学生2名を含む)
退学5名 (出産2名 進路変更1名) 進級11名

- 学業成績 前期試験 118 名 不合格 38%
後期試験 117 名 不合格 27%
- 実技試験 平均点 86.1 80.6
- コロナ対策 ①毎日の検温を web「マチコミ」にて管理
②相モデルの実習時にフェイス・シールド等の徹底
③感染症拡大防止のため適宜、遠隔授業を実施し授業を担保しつつ学生の安全に配慮した。また、埼玉県内の感染症増加に鑑みて2日間夏休みを速めて学内での感染を防止した。短縮した授業は9月中に振替授業を実施し、単位取得に不利益の生じないよう対応した。登校後に発熱等感染が疑われる学生は、抗体検査抜キット2個を持ち帰らせ、感染拡大を防止した。
- 課外活動 9月13日 ミルボンのヘアショー見学
12月29日 川口リリア・芸術鑑賞
- 授 業 ①ケアの授業にマツエクを追加採用して、前期はネイルとエステ、後期はメイクとマツエクを計画し、40人クラスを半分の20人ずつにして少人数とし、きめ細かく効率良く授業を実施した。
②サロンワークはバックシャンプーなど実際のサロンで役立つ実習を増やした。

2 学年

- 原田 美容科 69 期 2 年生 進級時 114 名
3 名退学（復学→退学 1 名）
進路変更 2 名 （勉強が苦手、実技の遅れなど）
111 名卒業
就職率 就職希望者全員就職 就職希望なし 3 名 就職率 97%
試験結果 前期 112 名 不合格 19%
後期 111 名 不合格 18%
実技試験 前期 平均点 85.5 点
後期 平均点 85.5 点 上位が減る傾向がある
コロナ対策 1 年生と同様に対策を講じたが、国家試験という目標もあり、2 年生は健康管理ができていた。
- 授 業 ① ランク別授業 実技は A から D に分けて 4 クラス編成で D ランクは 15 人の少人数の授業を実施した。このことで上下の差が縮まった。今期の国家試験は概ね全員が合格しているかと予想する。
② 例年不合格者が出る国家試験学科対策は、筆記試験対応のプリント課

題をオリジナルで作成し、結果のチェックを徹底し、出来ない学生のボトム・アップを徹底した。

- ③ 実技国家試験の終了後は、授業が午前中となり午後は下位の成績の学生の居残り指導を十分に行うことができた。

7. 意見への対応

1年生（橋本）

- ① 授業に対する心構えと職業観を持たせる
 - ・1年の当初に心構えをノートに書かせる
 - ・1カ月ごとに目標をたて、意識づけをした。
- ② サロンワークをロールプレイなどで実践的に教える
 - ・1階サロン実習室が充実したので、店長の経験者である教員を中心に実践的なサロン実習を取り入れた。
- ③ 1年次からコミュニケーション能力を高める指導を実施する
 - ・挨拶の強化月間などを作り、意識づけを試みているが、慣れると少しずつ薄れる傾向がみられた。
- ④ 理解度に応じたきめ細かい指導が必要である
 - ・ケア授業など少人数で学ぶ科目を設けた
- ⑤ 授業を通して美容の楽しさを伝えたい
 - ・授業の中で楽しさが感じられるよう工夫している。ミルボンのヘアショー見学は学生も楽しむことができ、モチベーションも上がったと感じられた。
- ⑥ 学生が互いに教えあえる環境づくり
 - ・2年生に実習の指導をしてもらう「交換授業」を実施したところ、非常に楽しくコミュニケーションがとれていた。

※その他

・相手への気遣い等も伝えてはいるが自ら気が付かせるのは難しい。理解度にあわせてきめ細かい指導に関しては、学習の遅れた学生への居残り練習などを実施した。

2年生（原田）

- ① 授業に対する心構えと職業観を持たせる
 - ・今までしてきたことで「成功体験」についてディスカッションをし、グループワークなどで職業観を持たせる授業を取り入れた。一時的にモチベーションは上がるが継続することが難しい。
- ② サロンワークをロールプレイなどで実践的に教える
 - ・2年次のサロンワークは、1階のサロン実習室でヘルプなどのロールプレイがし

っかりできた。1年次から担当が一貫して指導する体制をとっている。

- ③ 1年次からコミュニケーション能力を高める指導を実施する
 - ・自己点検シートなどを今後導入していきたい。
- ④ 理解度に応じたきめ細かい指導が必要である
 - ・実技ではランク別の少人数授業を実施できた。ボトム・アップが図れたが、反面上位者を伸ばすことができなかった。
- ⑤ 授業を通して美容の楽しさを伝えたい。
 - ・卒業生や他分野が講師となるオムニバス授業を「毛髪科学」などで取り入れた。
- ⑥ 学生が互いに教えあえる環境づくり
 - ・1年生に教える交換授業では、自信をもって教える中でモチベーションがあがったり、技術を教えやすくする工夫の中で、自分の出来ていない事に気が付くことがあった。

司会 第1回目は報告会とさせていただき、報告をふまえた質問や意見交換を第2回にて実施いたします。

2023年3月28日

2022年度 第2回美容科教育課程編成委員会議事録

1. 開会日時 2023年3月28日(火) 13:30-14:30
2. 開催場所 埼玉県理容美容専門学校 浦和校舎 2階 ホール
3. 出席者 8名

	氏名	所属
1	間山 弘子	一般社団法人 埼玉県美容技術協会 指導講師
2	古川 聡	埼玉県美容業生活衛生同業組合 浦和支部 支部長
3	秋山 幸子	一般社団法人 埼玉県美容技術協会
4	長島 光世	埼玉県美容業生活衛生同業組合 戸田支部 支部長
5	増村 信雄	埼玉県理容美容専門学校 校長
6	千住 義祐	埼玉県理容美容専門学校 教務課長
7	原田 怜	埼玉県理容美容専門学校 美容科主任
8	橋本 有美	埼玉県理容美容専門学校 美容科主任

4. 学校長 開会挨拶 (増村校長)
5. 2022年度第1回・教育課程編成委員会の目的 (司会・千住課長)
本校における授業内容および学生指導が将来の職業実践に寄与しているか、について2022年第1回目で意見聴取した点を、2023年度に活かして改善する方法の検討。

6. 今年度の報告に対する質問

① 授業に対する心構えと職業観を持たせる

間山 最近、挨拶の仕方が変わったと感じる。授業に入る前の挨拶の際、声出しや姿勢が良くなった。挨拶については学校から指導を受けていると学生が言っていた。しかし、慣れたり疲れると声が出なくなるので継続してできるようになって欲しい。特に外部講師に対して、心構えや意識づけができて来た。

② ヘサロンワークをロールプレイなどで実践的に教える

古川 2年生の報告を伺って、修正ができて良いと感じた。名もなき家事のように名もなきサロンワークをしっかりとって欲しい。華やかな仕事だけでなく、そうした仕事を認識して欲しい。

原田 お客様に直接かかわらない仕事、掃除やバックヤードの片づけなどそうした雑務こそ、卒業後すぐにする仕事なので、今後も指導していきたい。

③ 1年次からコミュニケーション能力を高める指導を実施する

秋山 だいぶ意識が変わったのかと思う。1年生の時期は成長していく基本で、指導をしっ
かりして欲しい。お客様とのコミュニケーションは、接客なので自分のキャッチが大
切。一生懸命やることの重要性を伝えて欲しい。

④ 理解度に応じたきめ細かい指導が必要である

長嶋 1年生が教育実習で2日間来たが、袴着付けの助手やカラーリングの塗布、調合など
をしてもらった。袴着付けの助手は、日本文化の授業と実際の営業のやり方に違いも
見られて勉強になったようだ。考える力は、現場で育つもの。ご挨拶がしっかりでき
て、躰は行き届いていた。さっと出て、いらっしやいませが言えるだけでも良い。成
長がうかがえた。考える授業の工夫をしていけると良いと思う。

⑤ 授業を通して美容の楽しさを伝えたい

秋山 楽しくなるというのは、興味を持ってもらうことが第一だと思う。外部の講師の展示
や、色々な経験、行動の多様性、グループ・ワーク等のバリエーションが必要。
具体例として、特殊メイクなど大幅に日常的でないことの授業を計画してはどうか。

間山 学生は自分で考えて工夫することが少ない、指示待ちが多いので、教える側は
やりたいことをやらせてみて、修正を図る方法もあるかと思う。
失敗させることも大切。自分で気づくためには、マニュアルで教えずに自分でやらせ
ることも必要。与えすぎは良くないのかもしれない。作り上げる楽しさを体験させる。
答えありきでなく、体験させることが必要。挨拶も心がなく、かたちでやれば忘れる。
自ら動くアクティブラーニングの実践が必要。心を動かす授業。年々、幼くなってき
ていると感じる中で、指導をするのはなかなか難しくなっているが、育てる環境を整
えてほしい。

秋山 他校では校内で技術大会を開催していた(コロナ禍)出たい学生が多かった。エントリ
ー料金がかかっても、やりたい学生がいる。目標を持たせるために計画してはどうか。

⑦ 学生が互いに教えあえる環境づくり

古川 交換授業での1年生の反応はどうでしたか。

橋本 ウェーブを2年生と楽しそうに学べていましたが、コロナ禍で一回しかできず、残
念だった。

原田 2年生も、技術の意識づけや、モチベーション・アップには良かった。できない子、
生活が乱れがちな学生こそ、先輩として接することで意識が変わり効果的だった。

古川 今後も機会を増やして行ってほしい

2023年度に向けた意見

長嶋 テクニカと日本文化の授業に携わってみて、メンタルが弱い学生に対する対応が悩
ましい。就職後にどうかが気にかかる。

間山 挨拶と姿勢は良くなった。身につけるはある意味訓練なので今後も徹底して行って
いただきたい。2年生になると悪い意味で「慣れて」しまう。習熟度別の指導対応は
とても良いと思う。

古川 パネルディスカッションなど、アクティブ・ラーニングをやってみてはどうか？
カウンセリングからのロール・プレイコンテストや、一般的なマナー講習などを計画
してみてほしい。

※ その他質問等

長嶋 学生のビジネス・マナーはどんな授業でしょう

橋本 外部講師の社会科学です

長嶋 とても良い内容で、学生がためになったと言っていました。

司会 今までいただいたご意見をまとめます。

- ① 挨拶に声を出す
- ② 笑顔
- ③ まずは体験させる
- ④ 交換授業の回数を増やす
- ⑤ 気配り心配りのできる学生づくり
- ⑥ 名もなきサロンワークの大切さ
- ⑦ メンタル勉強
- ⑧ 学生に寄り添う意識
- ⑨ アクティブ・ラーニング
- ⑩ カウンセリング・コンテスト
- ⑪ 一般的なマナー

司会 実践に向けて計画します

校長 貴重なご意見ありがとうございます。接客の基本は挨拶です。しっかりと今後も取り
組み、雑用は大切な一つの仕事だという意識づけも進めたい。
一歩でも前進できるように今後ご指導ご鞭撻お願いしたい。

司会 次回の委員会の計画は、2023年度一回目が9月26日二回目、第二回目（火）2月27
日（火）を予定している

8. その他

連絡事項教育課程編成委員会は年2回を予定

1回目 9月25日(月) 2回目 2月26日(月)

9. 校長挨拶

活発な意見交換に対して謝意を述べ、アフター・コロナの進捗を踏まえつつ、様々な実体験を学生に提供できるように計画することを2023年の目標に掲げる。

10. 閉会宣言

2023年度 美容科取り組み目標

- ① 挨拶に声を出す
- ② 笑顔
- ③ まずは体験させる
- ④ 交換授業の回数を増やす
- ⑤ 気配り心配りのできる学生づくり
- ⑥ 名もなきサロンワークの大切さ
- ⑦ メンタル勉強
- ⑧ 学生に寄り添う意識
- ⑨ アクティブ・ラーニング
- ⑩ カウンセリング・コンテスト
- ⑪ 一般的なマナー